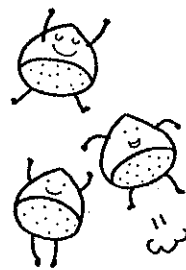


KSKS

ばなの木

Vol.51

秋! いい汗
かいていますか



編集人: 社会福祉法人「ばなの」

TEL072-277-2163 FAX072-277-2167

法人ホームページ

モンキーばなの (生活介護・就労継続B型)

サニー・サイト (生活介護・就労継続B型)

らふたあ (居宅介護・重度訪問介護・移動支援・介護保険)

サポートセンターはなのこみち (グループホーム・相談支援)

堺市中区深井清水町 3488-1

e-mail:tomonoie@almond.ocn.ne.jp

<http://care-net.biz/27/banana/>

e-mail:banana_net@hotmail.co.jp

e-mail:sp9m7y39@wish.ocn.ne.jp

e-mail:laughter_net@yahoo.co.jp

e-mail:bnnhana@aioros.ocn.ne.jp

二〇〇〇年十一月十二日

第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

変革の年、真っただなか…



社会福祉法人 ばなな
サポートセンター はなのこみち
管理者 松本 三貴

年始の理事長のあいさつから始まり、各事業を担当している責任者からの記事であったように、本当に申年の変化の激しい年となっています。社会福祉法人改革では、当法人も、改革の施行スケジュールに悪戦苦闘しています。日本が少子高齢社会になっている今、社会にあわせて制度も整えられていますが、制度の狭間で、困窮している方もいらっしゃいます。その方々も、地域から孤立する事なく生活ができるようにとの目的もあって、社会福祉法人の「地域における公的な取り組み」については、全ての法人の責務として規定したものであります。このきまりは、誰もが住み心地の良い地域になっていく事につながっていくだろうと考えられています。

「土手の花見の防災」話であるように、いろんな事をしている内に、それが結果的に防災につながり、「地域の方々の命を救う」という働きが地域の方々を幸せな気分へ導き、さらに治水事業が出来てしまう、自然に社会的活動を活性化させる事ができるように、社会福祉法改正になっていく事を願います。

当法人で働く人の状態も変わりゆく中、先人の方からの後世へ受け継ぐべき大切な事は新人へ引き継ぎ、職場のチームワークを強化し、支援することに専念できるように、法人内での働く場の環境を整備する事に努めている毎日であります。

社会福祉（人々の幸福）が向上して、地域で人として当り前の生活を送る事が、誰もが出来る社会になることを願っています。ただいま変革の真っただなか奮闘する日々であります。社会福祉法人ばななは、従業員一同、あたたかい心と経験を積み重ねてそれぞれの特技とする技術・専門性をもって、前進あるのみ！！で頑張っています。

【ばなの発】

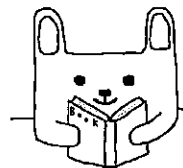
活動報告



研修報告

8月 1日(月) PL花火鑑賞会
20日(土) 中区区民フェスタ参加

- 7月 4日(月)・5日(火) 主任講座
20日(水) 法人全体研修「差別解消法」(21名)
- 8月 3日(水) 工賃向上セミナー
24日(水) 工賃向上セミナー
福祉車両安全運転講習
25日(木) さをり織り研修
26日(金) 自閉症スペクトラム障害のある人たちへの合理的配慮について
30日(火) 危機管理について～今後の事業所における対応・対策～について (3名)
人権教育セミナー
31日(水) 法人全体研修「支援とは」(21名)
- 9月 2日(金)・3日(土) メンタルヘルス講習 (2名)
21日(水) 工賃向上セミナー
27日(火) これからの発達凹凸支援～家庭・学校・園・地域で支えるには (2名)
28日(水) 法人全体研修「福祉の常識・非常識」(20名)
- 10月 9日(日) 大規模災害 いつまで続く 取り残される障害者
7月～9月 防災会議 (4回)



第一回人権教育セミナー

講師 西光寺(水平社運動発祥地)住職 清原 隆宣 氏

「水平社が語りかけるものは、人の値打ちをはかる『ものさし』なのです。比較したりされたりすることなど、必要ないことなのです」

この話を聞きながら、「私たちの心の中や社会にある『ものさし』によって、私たち自身が、他人の良い所やすばらしさを認める事を忘れ、自尊心さえ見失っていないだろうか？私たち自身が『ものさし』を持ち、この存在に気が付かないことで、重苦しいものを背負って生きてはいないか…？」自分の中に自然とこんな思いが生まれてきました。

そして「部落解放」とは部落差別をなくす取り組みであると同時に、私たち自身の心を解放をする取り組みでもあることを改めて確信しました。

私はこの『ものさし』の話から自分自身と向き合う事が出来ました。学歴・家柄・貧富・宗教・性別・障害などにとらわれた私たちのあり方が間違いであることに気づくようになりました。

ありのまま受け入れていきたいと思いました。

エールDEネットワーク研修「危機管理について」

今回、東区と堺区の地震対応についての取り組みを知ったが、その意識の高さに驚いた。確かに、堺区では南海地震や東南海地震が発生した際には津波が押し寄せ、避難対象地域となる可能性が高いためという理由もあるが、避難場所もこのビルへとか、この場所へというようにしっかりと想定されており、大いに参考となった。

今、法人内の防災・減災委員会で様々な対応準備をしている最中であるが、サニー・サイト利用者一人ひとりのためにヘルメットを用意するにしても、非常食や避難持ち出し用品を準備するにしても金銭的な問題、場所的な問題が発生するなど課題も多い。しかしながら、対応は待ったなしである。早急に出来るものから取り組みたいと感じた研修会であった。

はるにれの里・北摂杉の子会ジョイントセミナー

「自閉症スペクトラム障害のある人たちへの合理的配慮について学ぶ」

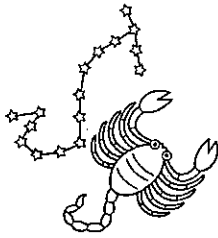
午前中は京都で児童精神科医として従事している門氏の講演だった。4月に施行された障害者差別解消法に伴い、自閉症の人や重度知的障害の人が補助代替コミュニケーションを選択できるようにすることも合理的配慮である事という主旨の内容だった。

自閉症や重度知的障害を持つ人にとって、見通しが立たない事は全く分からない場所に飛び込むぐらいストレスに悩まされる。それが日常的にあり、場合によってはパニックを起こす。門氏は自閉症や重度知的障害の人にPECSを使う事で自分の思いや意図を自発的に相手に伝える事が可能になり、見通しが立つ事で安定した生活を営む事ができるようになる。資料映像では、2人の大人と自閉症の児童がカードを使ってお菓子をもらうコミュニケーションを学ぶ様子が映っていた。初めは2人の大人のうち1人が児童の後ろに回り、もう1人はお菓子を持つ。児童がお菓子を取ろうとすると後ろの大人が「お菓子をくださいと描かれたカード」を本人に渡す。それをお菓子を持つ大人に渡しお菓子をもらう。これを繰り返す事で児童は自然に絵カードを使ってお菓子をもらう習慣がついた。また、他にも一日のスケジュール確認に応用する事もできる。午後からは当事者の親、各事業所の支援方法についての講義であったが、共通している部分は視覚情報による作業やスケジュールの認識を行っていた。全ての自閉症の人が視覚情報を通してのコミュニケーションが良いとは言えないが、言葉や声の理解が困難な人にとって明確で分かりやすいコミュニケーション方法であると感じた。

みんなの輪

杉山 明生さん

梶山 敦美さん



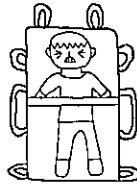
星 座	さそり座	おひつじ座
誕生日	11月20日	4月15日
血液型	〇型	〇型
好きな食べもの	カレーライス	お寿司、ぶどう
好きなスポーツ	相 撲	バレーボール観戦
好きな芸能人	加藤浩次	嵐 (桜井 翔)
得意なこと	チュイール伸ばし	好きな車を見分ける (クッキー)
苦手なこと	気が短いこと	人が多い所、うるさい所
はまっていること	パズルあそび	カラオケ
楽しかったこと 思い出	パペットセラピー	家族旅行 コンサートを見に行ったこと
今、言いたいこと	女子と仲よくしたい!	お仕事、楽しい!

モンキーばなな

避 難 訓 練



以前、購入した担架を使い、避難訓練を行いました。3～5人の介助者で避難をすると想定し一人ずつ担架に乗り、作業室から共用スペースまでの短い距離ですが担架に乗る体験しました。また、担架に乗るだけではなく、担架を持つ体験もしました。これから、定期的に避難訓練を行い、いざという時にはすぐに身体が動くように訓練をしていければと思います。



～お知らせ～

こさえたんサポーターFacebookにモンキーばななの商品が紹介されました！！店舗や商品の写真など紹介していただいています。よろしければ一度見てください。詳しくは<https://www.facebook.com/cosaetan>に載っています。よろしく願います。



日帰り旅行 へ 神戸六甲方面へ

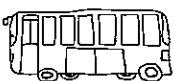


まず、はじめに『六甲オルゴールミュージアム』に行ってきました。到着すると、すぐにお買い物へ♪可愛いオルゴールや雑貨など、たくさん商品が並んでいました。中にはスピーカーの形をしたオルゴールがあり「これ買おう！」と買った方もいました。

次にアンティークオルゴールの自動演奏と共に「鏡の国のアリス」の物語を見ました。物語はサンドアートの映画になっており、とても幻想的な世界でした。

昼食は『六甲ガーデンテラス』へ。当日はあいにくの雨…晴れていれば六甲の景色を眺めることができたのですが…。でも、時々雲の切れ間から景色が見えることがあり、その時にはキレイな六甲の景色を少しだけですが、見ることもできました。

次は楽しみにしていた『てっちゃん工房』へ。かまぼこ・ちくわの手作り体験をしました。かまぼこは、それぞれ好きな形で、ネコや魚など色々なかまぼこが出来上がりました。問題はちくわです…棒にすり身を巻きつけていくのですが、これがとてもむずかしい！てっちゃん工房の方が見本を見せてくれたのですが、その手さばきに「おっ！」と歓声が上がっていました。何度かやり直したくなった方もいましたが、みんな無事にちくわも作り終え、焼けるのを待っている間に出来立てのかまぼこ・ちくわなど、たくさん試食を出していただきお腹いっぱいになりました。買い物や手作り体験など楽しんできました。



サニー・サイト

スポーツの

オリンピック・パラリンピックに魅せられて？

最近、昼休みに**卓球**をすることが、ちょっとしたブームになっています。ネットの付属品がなくなった！ということもありますが、みんなができるゴロ卓球の3本勝負を楽しんでいます。

運動をしたいけど、夏は暑く、暑さが和らいでも雨が続いたり、と、なかなか外に出られず思案していました。

ふと思い出し、長い間、倉庫でほこりをかぶっているのを引っ張り出したところ、休憩時間に気軽にでき、重宝しています。

折りたたみ式なので場所もとらず、もう少し涼しくなって天候が落ち着くまでの間、室内で活躍してもらいます。

ボーリング

1ゲーム“500円！”のチラシに誘われ、久しぶりにボーリングに行ってきました。1ゲームしかしなかったの、休日に時々移動支援を利用して、10ゲームする方にとっては物足りなく、いつもの調子が出なかったようですが、外食も楽しみのひとつでもあり、参加者は満足して帰りました。



秋

食よくの

ええとこ見つけ♡

「休日は、家族といっしょに過ごしたい！」とのことで、いつもは祝日の行事に参加しない方でした。11月3日の「障害者スポーツ・レクリエーション大会に参加すると聞き理由を尋ねると、「サニー・サイト新聞の編集委員として実際に参加して記事を書くため、」と応えてくれました。



調理 訓練 その後

《国産材料と安価にこだわり》

- 8月 おろしハンバーグ・野菜添え
(今や高価なレタスをてんこ盛りして)
- 9月 三色丼
(1品は小松菜でした)
- 10月 豚肉のしょうが焼き
(みそ汁付160円)

らふたあ

～健康な体を維持するために～

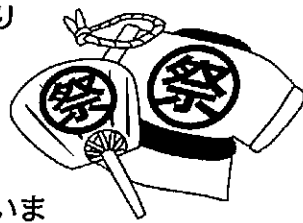
日々の支援を行う上で、支援者が利用者の健康状態の把握を行う事はとても重要な事です。利用者だけではなく、支援者自身も健康管理を日々行っておかないといけません。その為、最近のヘルパー会議では、口腔ケアについて研修を行いました。口腔ケアは障害福祉、介護保険共に基本となる支援だと思えます。しかし、基本だからこそ定期的に研修を行う必要があると思っております。10月、11月のヘルパー会議でも「感染予防」「病気について」などの研修を行う予定となっており、研修を通じて、利用者、支援者共に健康に生活を送れるようになればと思っています。



～支援の現場から～

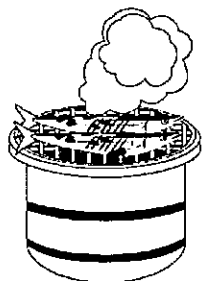
《堺の秋祭り》

9月、10月と堺市各所で行われた布団太鼓や地車などの秋祭りに移動支援を利用して見に行く事が多くありました。年に1度のお祭りをとても楽しみにされていたようで、目の前を通り過ぎる布団太鼓や地車などを熱心に見たり、会場付近に出展されている出店で食事をしたりとそれぞれの楽しみ方で秋の祭りを満喫していました。



《秋の味覚》

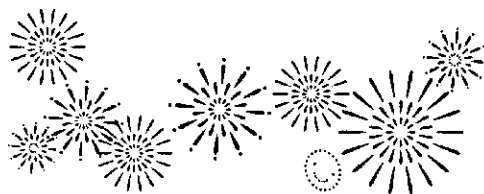
季節が秋となり、利用者宅で食事介助を行っている中、メニューの中に栗ご飯や秋刀魚の塩焼きなどを目にする機会が増えてきました。移動支援を利用し外出した際も、「食欲の秋やねんから、秋っぽい物たべとかな！！」と、飲食店で期間限定秋の味覚メニューを注文される事もありました。食べ物おいしい季節、利用者、ヘルパー共に食べすぎには注意ですね。



サポートセンター はなのこみち

花火鑑賞会

8月1日に開催されたはなのこみち屋上での花火鑑賞会も今年で3回目となり、みんなが楽しみにする恒例の行事となりつつあります。今年はイベントをさらに盛り上げるべく、かき氷の他にフランクフルトとやきそばを用意し、夏祭りの雰囲気が出るように趣向を凝らしました。日中は35℃近くにまでなった気温も花火が始まる20時頃には幾分和らぎ、夜風に吹かれながら、良く晴れた夜空に打ち上がる色鮮やかな花火を楽しみました。花火を見つめる参加者の笑顔を見て、来年も晴れたらいいな、欲を言えばもう少し涼しければいいなと思えました。



恨めしい台風、だけど・・・

はなのこみちでは9月4日(日)、5日(月)に和歌山県で一泊旅行を実施する予定でしたが、近畿地方南部に台風が直撃する恐れがあるとの予報が出ていたため、安全を第一に考え9月2日(金)の時点で延期することを決定しました。はなのこみちにとっては初めての試みであり、入居者も非常に楽しみにしていたため延期を決定した後の反応が気になりましたが、理由を説明したところ全員すぐに納得し、残念ではあるが仕方がないと決定を受け入れました。これは定期的に防災・減災について話し合い、災害が起きたときに困ること(食事ができない、トイレが使えない、風呂に入れない、エレベーターが使えないなど)について理解していること、また校区の防災訓練に参加し、防災・減災への意識を高めていることが理由のひとつではないかと思えます。結果としては延期を決定した後すぐに台風の勢力は弱まり、当日は一泊旅行を実施しても問題無い天候になったのですが、決行していれば今回の入居者の反応と災害に対する意識を知ることができなかったことを考えると、恨めしい台風ではありましたが、風雨だけではなく職員に新たな気付きをもたらしたように思えます。余談ですが翌週も台風が発生し、20日(火)に大阪府全域に暴風警報が発令され、日中に通所している事業所が臨時休所となりましたが、入居者全員慌てることもなく、はなのこみちでカラオケをするなど落ち着いて過ごしました。

地域のみなさんとともに

秋祭りのお手伝い

町内会の回覧板でお知らせのあった、10月1日(土)に行われた深井清水町のだんじり祭りの準備に職員2名が参加させて頂きました。サポートセンターはなのこみちからの参加であることを伝えると「そこのはなのこみちさんからやね。ありがとう。」と笑顔で迎えてくださいました。地域の方に知ってもらえていることを感じることができ、非常に嬉しく思いました。お知らせにあった開始時刻の10時に現地に着いたときには準備がほとんど終わっていたので短時間ではありましたが、和気あいあいとした雰囲気の中、祭りで食べるおでんの仕込み作業をお手伝いさせて頂くことができました。来年はもう少し早い時間から参加できればと思いました。



クリスマスクッキーセット販売のお知らせ

例年通り300円、500円、1000円セットの3種類のクリスマスクッキーセットを販売致します。今年も1000円セットには恒例となりつつある新作クッキー1種類の他、手作りの雑貨が1点入っています。心をこめて作ったクッキーセットをご家族、ご友人へのプレゼントとして、お世話になった方へのお礼として、またご自身へのご褒美としていかがでしょうか？

編集後記

うだるような暑さが続いた8月、毎週のように台風が来襲して各地に被害をもたらした9月が終わり、ようやく過ごしやすい気候になったと一息ついたところに、阿蘇山で36年ぶりに爆発的な噴火が起こったとのニュースが飛び込んできました。4月に起きた熊本地震からの復旧・復興を目指す中での再びの災害は被災者にとって耐え難い苦難であることは想像に難くありません。被災地の方が一日でも早く、以前の生活を取り戻せたらと思います。

編集委員一同

発行人 関西障害者定期刊行物協会 〒543-0015 大阪市天王寺区真田山2-2 東興ビル4F
二〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

定価100円

地域のみなさんとともに

秋祭りのお手伝い

町内会の回覧板でお知らせのあった、10月1日(土)に行われた深井清水町のだんじり祭りの準備に職員2名が参加させて頂きました。サポートセンターはなのこみちからの参加であることを伝えると「そこのはなのこみちさんからやね。ありがとう。」と笑顔で迎えてくださいました。地域の方に知ってもらえていることを感じる事ができ、非常に嬉しく思いました。お知らせにあった開始時刻の10時に現地に着いたときには準備がほとんど終わっていたので短時間ではありましたが、和気あいあいとした雰囲気の中、祭りで食べるおでんの仕込み作業をお手伝いさせて頂くことができました。来年はもう少し早い時間から参加できればと思います。



クリスマスクッキーセット販売のお知らせ

例年通り300円、500円、1000円セットの3種類のクリスマスクッキーセットを販売致します。今年も1000円セットには恒例となりつつある新作クッキー1種類その他、手作りの雑貨が1点入っています。心をこめて作ったクッキーセットをご家族、ご友人へのプレゼントとして、お世話になった方へのお礼として、またご自身へのご褒美としていかがでしょうか？

編集後記

うだるような暑さが続いた8月、毎週のように台風が来襲して各地に被害をもたらした9月が終わり、ようやく過ごしやすい気候になったと一息ついたところに、阿蘇山で36年ぶりに爆発的な噴火が起こったとのニュースが飛び込んできました。4月に起きた熊本地震からの復旧・復興目指す中での再びの災害は被災者にとって耐え難い苦難であることは想像に難くありません。被災地の方が一日でも早く、以前の生活を取り戻せるよう微力でも力になればと思います。

編集委員